

シゲルくん通信

建物超寿命化支援企業の
株式会社シゲル・コーポレーションが
毎月発行する瓦版です

NEO

60th
Anniversary

★当社が協賛するBSNラジオ番組『石塚かおりのBrand new day』内にて
内容リフレッシュして、引き続き当社ラジオCMオンエア中! (毎週火曜日7:15~8:54内)

★BSN TV朝の情報・報道番組『THE TIME』内にて
当社お天気フィラーTVCMをリニューアルして放映中! (毎週月曜日6時30分頃)

【建物超寿命化支援企業】

株式会社シゲル・コーポレーション社長の増村文武です。

6月は、弊社の協力会でありますシゲル文英会主催の安全大会を実施しました。暑い夏の到来とともに、弊社も本格的な繁忙期を迎えますが、協力会社の皆様と安全意識のいっそうの向上を図ることができました。毎年募集している安全標語については、『「ありがとう」言える毎日 無事故から』を最優秀賞に選定いたしました。文英会メンバーはこの言葉をいつも胸に秘めて無事故・無災害を必達目標に掲げ、精進してまいります。

また、6月後半には2班に分かれて社員研修旅行を実施しました。研修のメインは大阪万博2025の視察となりましたが、社員一同、大屋根リングのスケールの大きさと、個性的で多彩な各パビリオンの建築物の技術やこだわりに感銘を受けて帰ってまいりました。

ぜひ皆様も、足を運ばれてみてください(^^)

今月のトピックス

- I. シゲル文英会 安全大会開催
- II. 「チャレンジ新潟 ゼロ災害運動2025」参加
- III. 「大阪万博 社員研修旅行」を実施

I. シゲル文英会 安全大会開催

6月21日、「シゲル文英会 安全大会」を開催いたしました。弊社社員、正会員の協力会社の皆様、メーカー・ディーラーの賛助会員の皆様合わせて総勢120名の方々に参加いただき、安全意識のいっそうの向上を図ることができました。第1部では、増村会長の挨拶、シゲル文英会役員新近紹介があり、安全表彰(企業表彰・職長表彰)および募集より選ばれた安全標語の表彰も行われました。また第2部では、安全に関連する技術研修を 化研マテリアル(株)新潟営業所 佐藤様、コニシ(株)新潟営業所 吉原様、昭石化工(株)首都圏オフィス 西出様より行って頂きました。



▼右から

化研マテリアル(株)新潟営業所
佐藤 様

コニシ(株)新潟営業所
吉原 様



▲安全「誓いの言葉」唱和
協力会社代表 B-line 安田 和之 様



▲安全標語 表彰の様子



▲安全表彰<企業表彰の部>
(株)建心 様・クシヤシール 様



昭石化工(株)首都圏オフィス
西出 様

II. 「チャレンジ新潟 ゼロ災害運動2025」参加

新潟労働局主催の新潟ゼロ災害運動に今年も参加します。

2025年度当社安全標語

『「ありがとう」言える毎日 無事故から』をスローガンに
協力会社の皆さんと共に安全確保の推進を図ります。



安全宣言

「チャレンジ新潟ゼロ災害運動 2025」

令和7年7月1日～令和7年12月31日

本取組を機に、以下の事項について、労使一丸となり、労働災害の無い、安全な職場づくりに取り組むことを宣言する。

- ア 安全衛生管理体制を整備すること
- イ 安全衛生法を遵守すること
- ウ 以下の安全衛生活動を実施すること
 - ・リスクアセスメント・危険予知活動・5S運動
 - ・指差し呼称と合図による確認作業の励行・職場巡視
- エ 安全衛生教育を実施すること
- オ 2025年度安全標語

『ありがとう 言える毎日 無事故から』を
スローガンに協力会社の皆さんと共に一人ひとりの自覚性を伴った安全確保の推進を図ります。

令和7年6月3日

事業所長氏名
株式会社シゲル・コーポレーション
代表取締役社長 増村文武
労働者代表氏名
安全管理部 部長 小柳 厚

III. 「大阪万博 社員研修旅行」を実施

今月は、大阪万博社員研修旅行に2班に分かれて研修を実施しました。各国のパビリオンは、それぞれ独自の文化や技術が建物のデザインに反映されており、建築的な工夫に感銘を受けました。特に自然との調和を意識した構造や、最新技術を活用した演出が印象的で、刺激の多い学びの場となりました。



※今月は研修旅行の為、シゲルくん通信NEOの発送が遅れました。

荻昌弘さんを愛してやまない 俺ちゃんのシネマコラム

連載第85回 今月のテーマ

『逃げて逃げて、逃げまくれ!』

自称、シゲル・コーポレーション内で一番の映画好き、増村文武です。

『ミッション:インポッシブル/ファイナル レコニング』、先日、しっかり劇場で鑑賞してまいりました〜 上映時間約3時間、先月記したとおりトイレに立つようなことのないように準備万端な心構えで本作と対峙してまいりましたが、鑑賞前はおそらくシリーズ最後の作品となるのであろうという予測を軌道修正するかのようなイーサン・ハントの常人を逸した活躍ぶりに、もしかしてまだまだイーサン・ハントの旅は続くのか?!、という驚きと期待を我が心に湧き上がらせてのエンドロール🎬、まだ鑑賞されていない方は、これぞ大音響、大画面の劇場で、トム・クルーズ様の笑っちゃうくらいの大奮闘を観てきていただきたい限りです🌈

そして7月は、私が心待ちにしていた待望のリポート版『スーパーマン』 もついに公開、今回は大泣きしそうですが、またレビュー速報を次月に記そうと考えております(^^)

さて、連載第85回目のテーマは、『逃げて逃げて、逃げまくれ!』 6月にすでに公開されたこちららも話題作『28年後...』を受けて、今回は納涼の意味もこめましての、ひたすら怖いものから逃げまくるサバイバル系の3本です🎬 我々も逃げたくなるような錯覚に陥って、鑑賞中にカロリー消費が激しくなること必至な選りすぐりを御紹介♪



★今月は写真(イラストはお休み)

先般実施した弊社の社員研修旅行は大阪万博2025の視察だけに終わらず!

研修2日目の目玉はレジェンドな大阪万博1970の『太陽の塔』、間近で見るとゴジラ級の大迫力でした!!!

🎬 No.250 『アイ・アム・レジェンド (2007年 アメリカ映画)』

この作品、好きなんです〜 舞台は2012年のニューヨーク、突如蔓延したウィルスにより人類はほぼ壊滅😱 人っ子一人いない廃墟と化した都市で、ただ一人?生き残った元アメリカ陸軍の中佐にして科学者のネビルは、愛犬のシェパードとともに日々命がけのサバイバルをしながら命をつないでいた 🌪️ 未知のウィルスに罹患した人類はとてつもなく狂暴化、健全な人類の抹殺そして同化に走ります💩 しかしながら彼らは日光にあたるのを極度に避けるため、活動するのは夜🌙 ネビルも彼らのこの習性を理解した上で、太陽光が昇っている時間帯を活用して食料品等の物資を探し回りながら、ウィルスの抗体作成のために捕獲した彼らを実験体にして研究を進めていたのですが... 本作でネビルを演じるウィル・スミス、沢山の大作に出演し大スターとなった彼ですが、今でも本作が彼の最高傑作の一本と感じるのは私だけ? 亡き家族への思い、相棒の愛犬への献身の姿は、等身大ウィル・スミスの魅力全開、本作の彼に、たまに会いたくなるのです 廃墟と化したニューヨークの描写がとても秀逸 最後までハラハラに楽しませてくれる、夏おススメの1本です🍻

🎬 No.251 『ワールド・ウォーZ (2013年 アメリカ・イギリス合作映画)』

こちらも、人間を狂暴化させる謎のウィルスによる世界的危機を描いた1本ですが、今回紹介の他作品に比較して、よりスケール感が大きい大作🌍 ブラッド・ピット演じる元国連職員のジェリーは、フィラデルフィアで妻と共に2人の子供を学校に送るため車に乗っていましたが、交通渋滞に巻き込まれます🚗 ほどなく近くで爆発がおき、何かが押し寄せてくるような恐怖の中で周りの人々は車を放棄し逃げ始めます 実は謎の疫病が世界各地で流行し始め、フィラデルフィアの街もまた、ゾンビ化した人類の大群に瞬く間に襲われた結果なのでした ジェリー家族は何とか難を逃れますが、ジェリーに国連本部より連絡が入ります☎️ この世界的危機から人類の存続を図るため、国連職員として信頼と実績のあるジェリーは、このウィルスの起源と対処方法の解明のため、ゾンビ化した大群がひしめく世界各地に命懸けで身を投じる使命を受けるのですが.... この映画がエポックメイキングとなったような幾万のゾンビ描写がとにかく強烈🔥 運動会の棒倒しを彷彿とさせるような駆けあがりゾンビ、また、ゾンビによる飛行機の墜落描写も恐ろしすぎ😱 本当に心してご覧あれ👁️

🎬 No.252 『28日後... (2002年 イギリス映画)』

『オープンハイマー』のキリアン・マーフィー主演による、映画史上最も俊足な高速ゾンビが登場する、スリリング極まりない1本🎬 今回のテーマ『逃げて逃げて、逃げまくれ!』に恐らく最も内容が合致するまともな傑作🔥 人類を狂暴化させる未知のウィルスが急速に蔓延し、壊滅状態になったロンドン🌪️ 感染拡大から28日後、キリアン演じる主人公のジムは、とある病院で昏睡状態から目を覚まします👁️ 何が起こったのか理解できず、荒廃した街の風景に打ちひしがれながら教会に入るジムですが、そこで彼は狂暴な感染者に襲撃されます😱 何とか難を逃れ生存者のセリーナ、マークに助けられますが、ふたたび感染者に襲われ傷を負って感染した者は新たな敵となり、窮地の連続がジムを襲い続けるのでした... ダニー・ボイル監督による本作は、続編『28週後...』、そして現在公開中の最新作『28年後...』へと続く人気シリーズとなっていくますが、怖がらせどころでしっかり仕事をするボイル監督の演出、改めて観返した第一作目、やはり冴えてますね〜 本作は以後の作品で魅力が加速的に開花する若きキリアンの原点が楽しめる1本でもあるのでした🔥

もし御興味が沸いてきましたら、皆様もぜひ一度御鑑賞を (^^)-☆

